

県営電気事業の発電施設現場訪問の結果について

9月4日（日）の「黒岩祐治が行く！神奈川の現場」では、全国の公営電気事業者の中で唯一の揚水式発電所である城山発電所（相模原市緑区川尻）及び、県企業庁が取り組んでいる太陽光発電施設（相模原市緑区谷ヶ原）の視察を行いました。



【発電総合制御所】

県営水力発電所13箇所の監視制御を行っている発電総合制御所で、県内河川の水を最大限に有効活用して発電を行っている状況について説明を受けるとともに職員と意見交換を行いました。

【城山発電所】

城山発電所は、夜間の余剰電力で水を汲み上げ、昼間の電力消費が多くなるときに水を落として発電を行う揚水式発電所です。

地下230mにある発電所は、東京電力からの発電要請に24時間すぐに対応できるよう、万全の状態に保守管理されています。

発電機の試運転を視察し、毎秒48トンの水が回す水車発電機の迫力を、間近で体感しました。





【本沢ダム・城山湖】

城山発電所が汲み上げた水を貯めておく本沢ダム・城山湖を視察しました。この水を全て使うと、城山発電所は 250 メガワットの発電を約 5.5 時間行うことができます。

【城山ソーラーガーデン】

県企業庁が太陽光発電普及のために平成 11 年 3 月に設置した城山ソーラーガーデンを視察しました。



【津久井発電所太陽光発電設備設置予定地】

「かながわソーラープロジェクト」の一環として今年度設置を予定している津久井発電所太陽光発電設備の設置場所を確認しました。